

BACH 映画名作鑑賞会

映画 **ドライビング・MISS・デイジー** (1989年 99分)

上映日時 10月20日(水)、29日(金) 1時～

監督 ブルース・ベレスフォード

原作者 アルフレッド・ウーリー

出演者 ジェシカ・タンディ、モーガン・フリーマン 他

解説

1989年第62回アカデミー賞4部門受賞作。白人の老婦人と黒人の運転手の心の交流と友情を25年の時の流れの中で描くドラマ。人種を越えた絆が伝わり、会話の端々に、仕草の一つ一つに、笑いと温かさが感じられる映画。当時はまだまだ差別的な時代でもあった。

ストーリー

1948年、夏。長年勤めた教職を退いた未亡人のデイジー（ジェシカ・タンディ）は、ある日運転中に危うく事故を起こしかけ、母の身を案じた息子のブーリー（ダン・エイクロイド）は、彼女の専用の運転手としてホーク（モーガン・フリーマン）という初老の黒人を雇う。

しかし典型的なユダヤ人で、元教師のデイジーには、運転手なんて金持ちぶっているようで気性が許さなかった。どうしても乗車拒否を続けるデイジーは、黙々と職務に励む飄々としたホークの姿に根負けし、悪態をつきながらも車に乗ることになる。

こうして始まったデイジーとホークの奇妙で不思議な関係は、1台の車の中で、やがて何物にも代えがたい友情の絆を生み出してゆく。

そして25年の歳月の流れの中で、初めてホークはニュージャージー州外を旅し、またデイジーはキング牧師の晩餐会に出席したりした。いつしか頭がボケ始めたデイジーは施設で暮らすようになり、長年住み馴れた家も売ることになった。しかしデイジーとホークの友情は、変わることなく続くのだった。

